

令和 4（2022）年医師・歯科医師・薬剤師統計の結果について（報告）

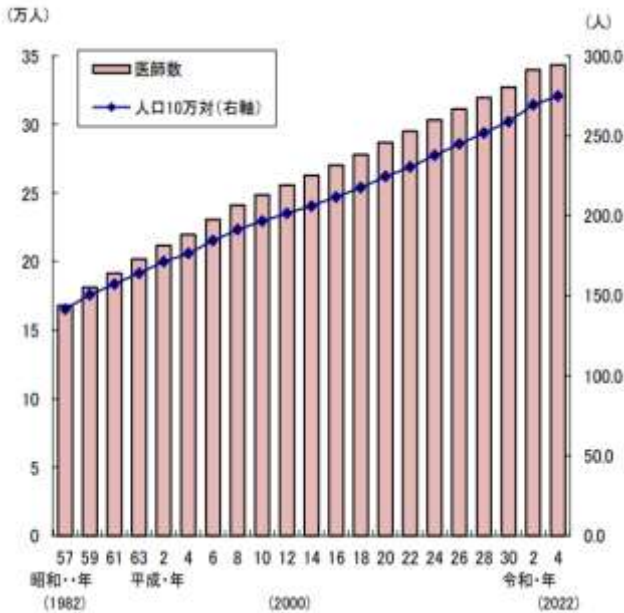
1 調査の概要

調査時点：令和 4 年 12 月 31 日現在（2 年に 1 度集計）
担 当 省：厚生労働省

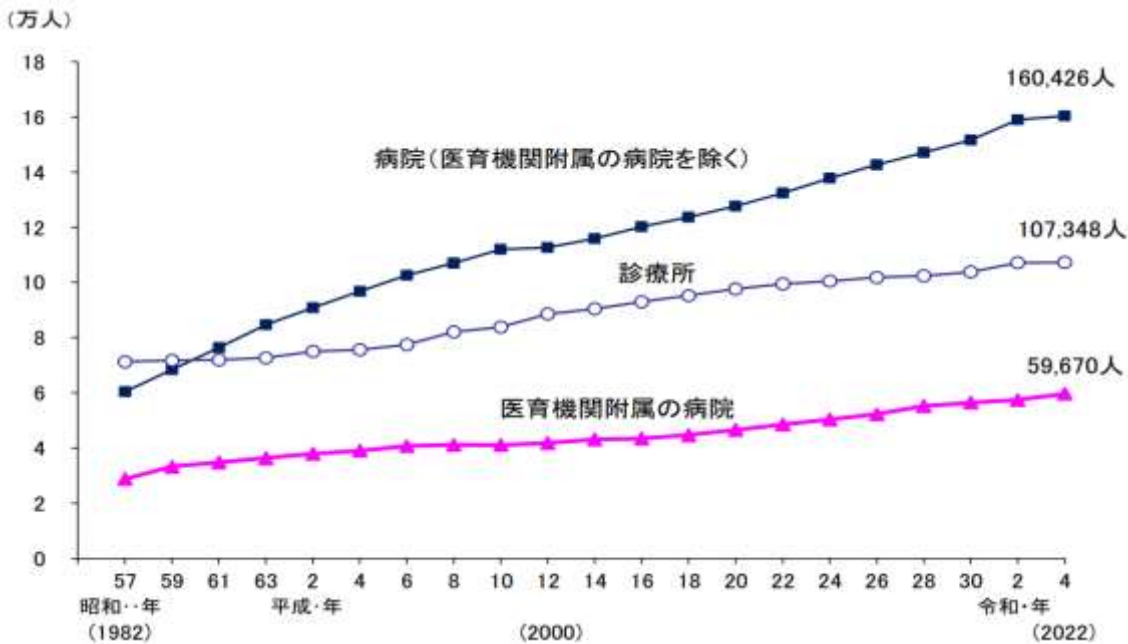
2 全国の医師数の状況（厚生労働省公表資料から抜粋）

(1) 医師数の推移

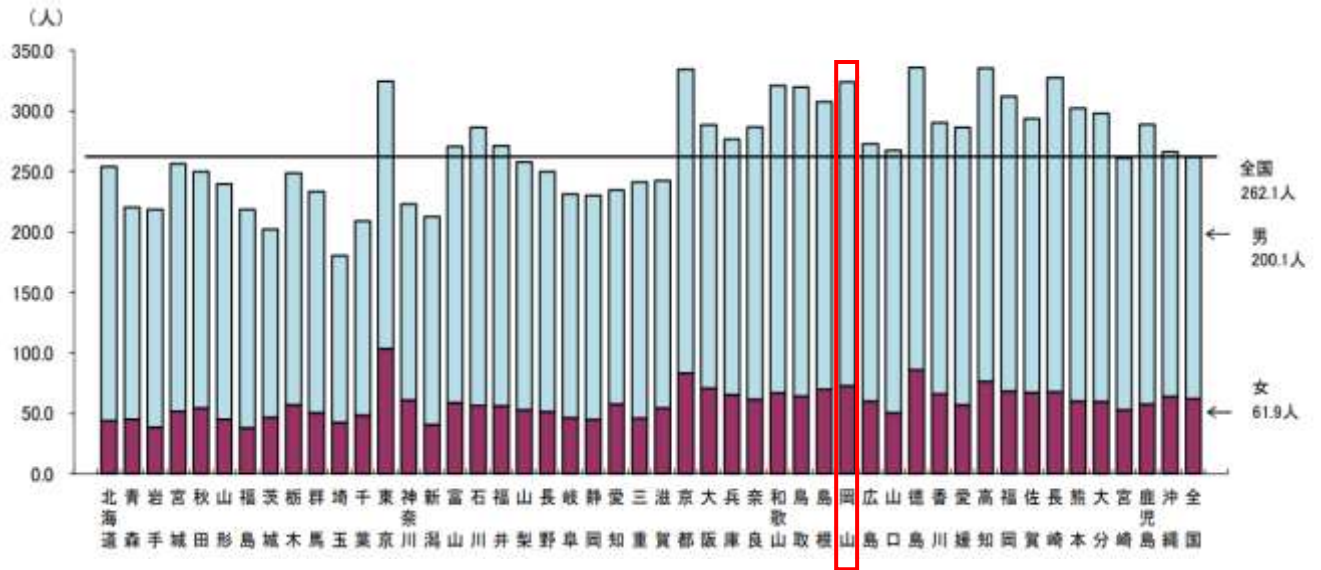
	医師数 (人)	増減率 (%)	人口10万対 (人)
昭和 57 年(1982)	167 952	---	141.5
59 ('84)	181 101	7.8	150.6
61 ('86)	191 346	5.7	157.3
63 ('88)	201 658	5.4	164.2
平成 2 年 ('90)	211 797	5.0	171.3
4 ('92)	219 704	3.7	176.5
6 ('94)	230 519	4.9	184.4
8 ('96)	240 908	4.5	191.4
10 ('98)	248 611	3.2	196.6
12 (2000)	255 792	2.9	201.5
14 ('02)	262 687	2.7	206.1
16 ('04)	270 371	2.9	211.7
18 ('06)	277 927	2.8	217.5
20 ('08)	286 699	3.2	224.5
22 ('10)	295 049	2.9	230.4
24 ('12)	303 268	2.8	237.8
26 ('14)	311 205	2.6	244.9
28 ('16)	319 480	2.7	251.7
30 ('18)	327 210	2.4	258.8
令和 2 年 ('20)	339 623	3.8	269.2
4 ('22)	343 275	1.1	274.7



(2) 医療施設に従事する医師数の推移



(3) 人口10万人当たり医療施設従事医師数

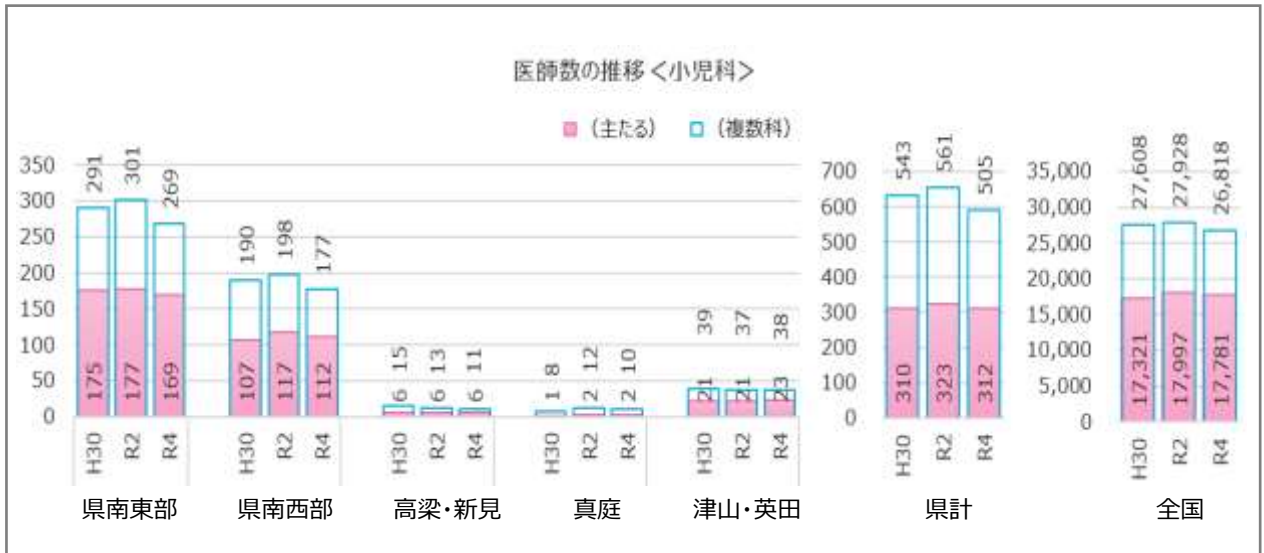


3 県内の医療施設従事医師数・内科医数・小児科医数・産婦人科医数

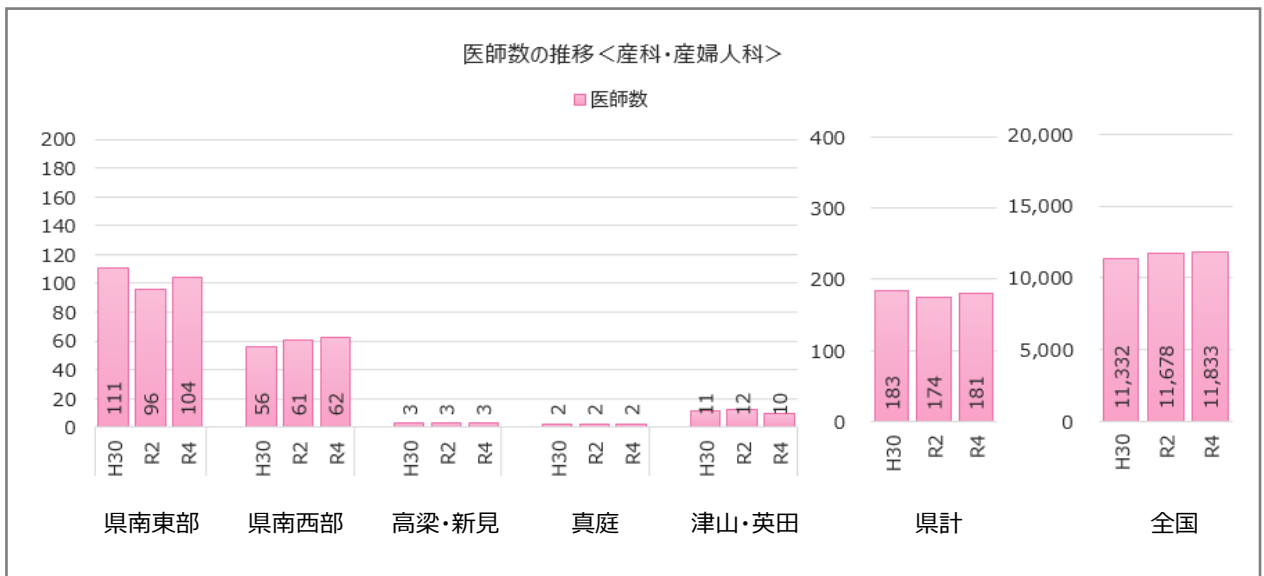
(単位：人)

	県南東部	県南西部	高梁・新見	真庭	津山・英田	県計	全国
医師数	3,361	2,149	83	75	364	6,032	327,444
内科医	1,193	805	39	42	170	2,249	120,718
小児科医	169	112	6	2	23	312	17,781
産婦人科医	104	62	3	2	10	181	11,833
R8 年度末目標	—	—	96	81	—	—	





※保健医療計画（第10章医師）で真庭地域を相対的医師少数区域として設定。同地域には小児科を標榜している診療所が複数存在するため、複数診療科に従事していると回答した医師数を参考掲載。



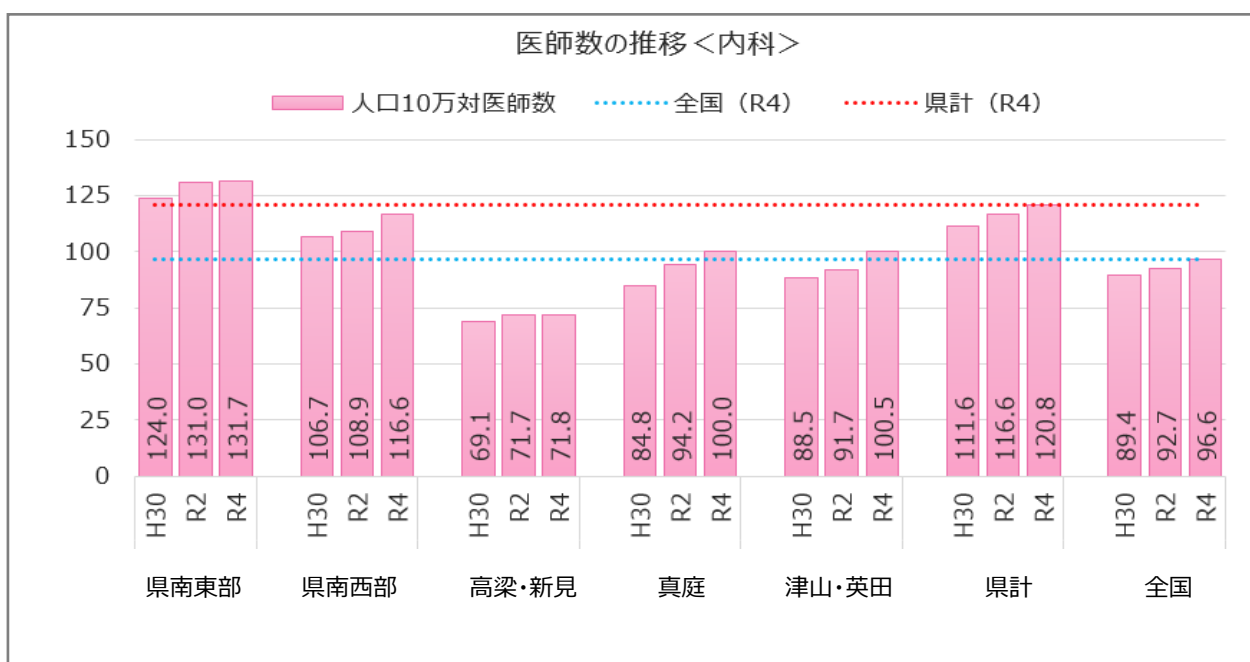
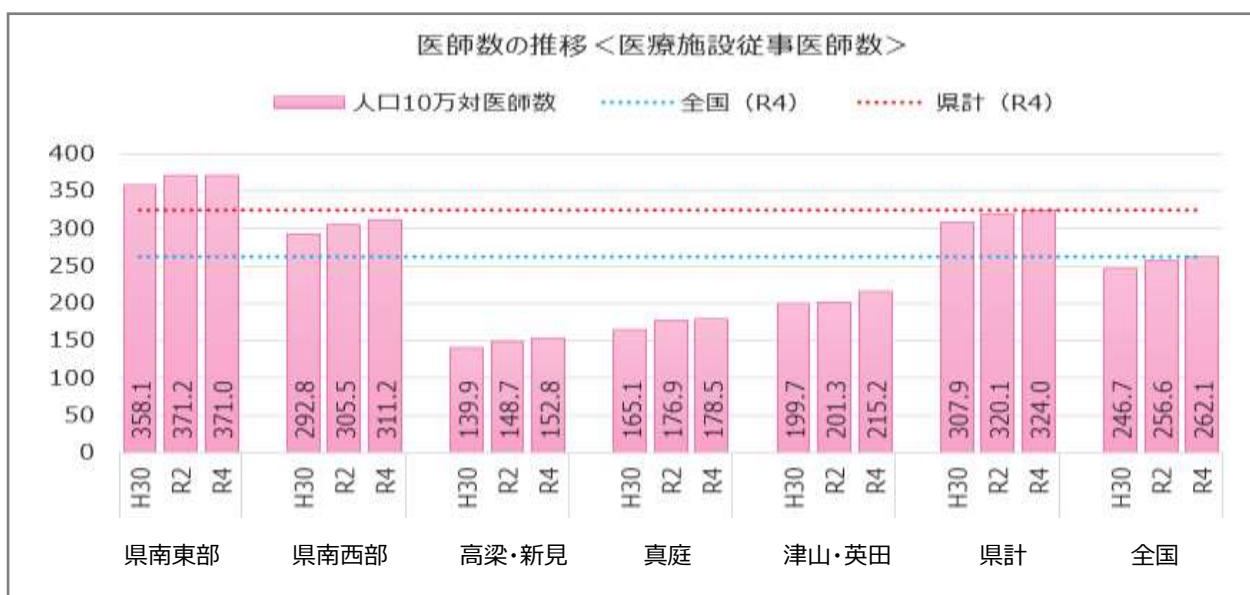
4 県内の人口10万人当たり医療施設従事医師数・内科医数、15歳未満人口1万人当たり小児科医数及び出産数1,000人当たり産婦人科医数

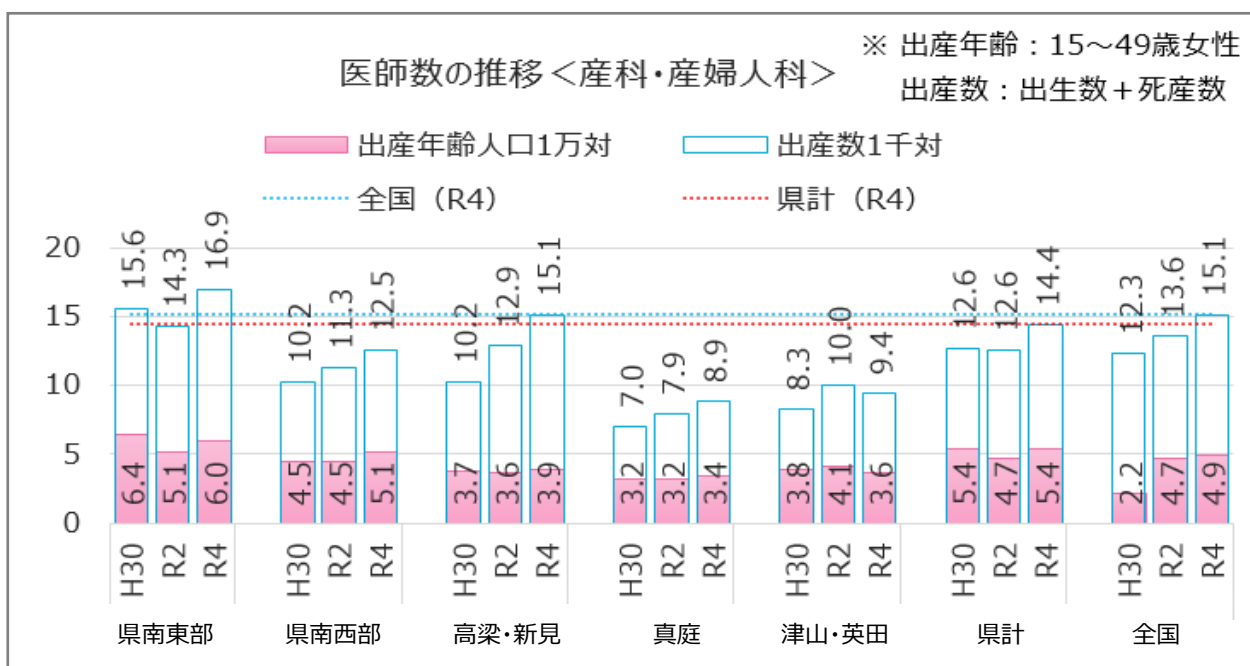
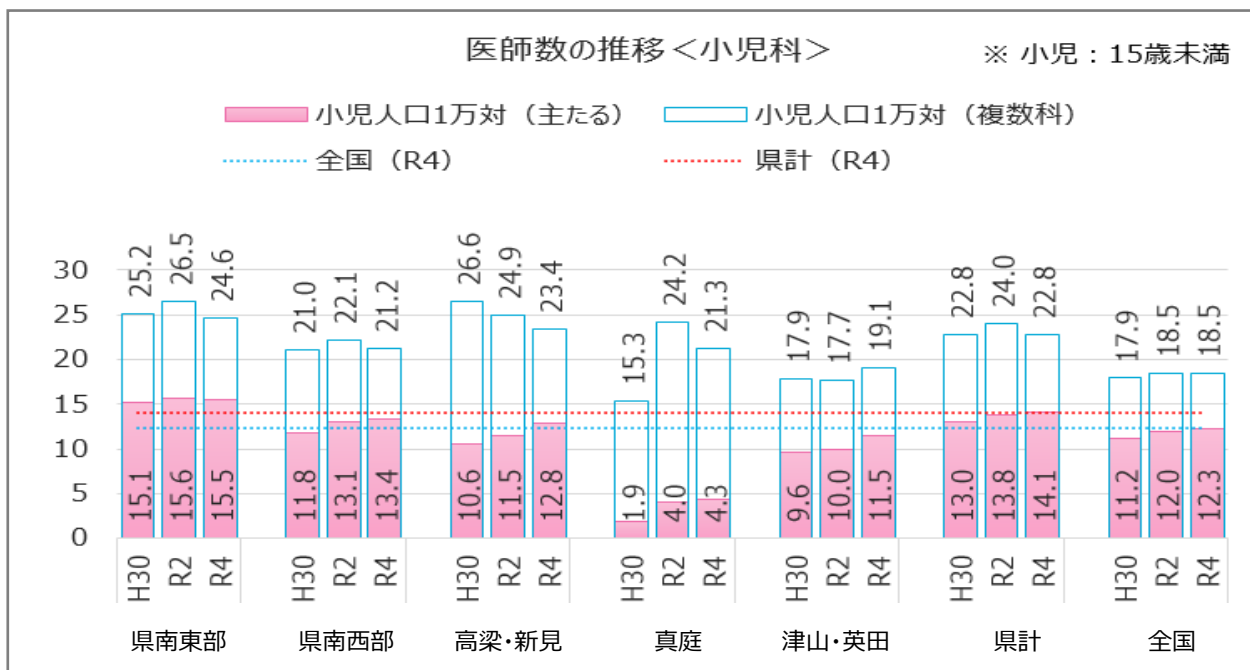
※人口は、平成30年度及び令和4年度について、総務省「人口推計」、岡山県「毎月流動人口調査」から算出した人口を使用。

令和2年度は総務省「令和2年国勢調査に関する不詳補完結果(参考表)」(R2.10.1現在)

(単位:人)

	県南東部	県南西部	高梁・新見	真庭	津山・英田	県計	全国
医師数	371.0	311.2	152.8	178.5	215.2	324.0	262.1
内科医	131.7	116.6	71.8	100.0	100.5	120.8	96.6
小児科医	15.5	13.4	12.8	4.3	11.5	14.1	12.3
産婦人科医	16.9	12.5	15.1	8.9	9.4	14.4	15.1





【ポイント】

- ・ 県内の医師数はほぼ横ばいとなっており、二次医療圏別に見ると、県南部の医療圏（県南東部・県南西部）への偏りが見られる。
- ・ 人口10対万人対等（4，5 ページ）の医師数は増加している圏域もあるが、医師数は増加していないことから人口減少の影響によるもの。
- ・ 調査時点において、医師確保計画に定める目標医師数（高梁・新見圏域、真庭圏域）に達しておらず、引き続き医師偏在対策に取り組む必要がある。

参考 人口 10 万人当たりの市町村別医療施設従事医師数

(単位：人)

